

第6回 日本栄養材形状機能研究会学術集会

Japanese society for functional structure of nutrition

日時： 令和元年9月28日（土） 13:00～17:30
場所： 東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール（東京都文京区本郷7-3-1）
参加費： 会員 1,000円 非会員 3,000円（事前登録不要）

当番世話人：飯島正平（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 栄養腫瘍科、消化器外科、緩和ケアセンター）
重松 孝（聖隷淡路病院 リハビリテーション科）

13:00～13:05

【開会挨拶】 代表世話人：大柳治正（近畿大学）

13:05～14:30

【一般演題】 座長：藤谷順子（国立国際医療研究センター病院 リハビリテーション科）

食べ物の見た目の違いが食欲と脳活動に与える影響—機能的MRI研究—

浜松市リハビリテーション病院 リハビリテーション部 岡本 圭史

栄養材の半固形化は本当に血糖コントロールを改善するか？

嚥下障害合併糖尿病2症例からの考察

兵庫県立リハビリテーション中央病院 内科 高田 俊之

肺炎患者における多段階の嚥下調整食が摂食状況と栄養状態に及ぼす影響

浜松市リハビリテーション病院 清水 昭雄

新経腸栄養コネクタISO80369-3の管理に関して

日本栄養材形状機能研究会・調査ワーキンググループ、田無病院 丸山 道生

嚥下時のずり速度を考える

日本栄養材形状機能研究会・摂食嚥下ワーキンググループ、藤田医科大学医学部 外科・緩和医療学講座
伊藤 彰博

15:00～15:30

【基調講演】 座長：東口高志（藤田医科大学医学部 外科・緩和医療学講座）

「特別用途食品制度」

消費者庁 食品表示企画課 保健表示室食品表示調査官 田島 諒子

15:30～17:20

【シンポジウム】

「半固形状流動食のベネフィット普及に向けた制度化の取り組み」

座長： 飯島正平（大阪国際がんセンター栄養腫瘍科）

重松 孝（聖隷淡路病院 リハビリテーション科） 共催：日本流動食協会

半固形栄養流動食の制度化に向けた物性評価法の探索

日本栄養材形状機能研究会・用語ワーキンググループ、大阪国際がんセンター 栄養腫瘍科 飯島 正平
摂食嚥下障害に対するリハビリテーションと半固形化栄養法

聖隷淡路病院 リハビリテーション科 重松 孝

在宅半固形栄養経管栄養法で欠かせない口腔機能回復に向けた指導管理について

～歯科医師の立場から～

海老名総合病院 歯科・歯科口腔外科 石井 良昌

在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料の算定に関する

Electronic Date Capture system(EDC)を用いた症例登録型データベースの構築

日本静脈経腸栄養学会・REDCapプロジェクト、済生会松阪総合病院 内科 清水 敦哉

特別発言 上西紀夫（公立昭和病院）

17:20

【閉会挨拶】 当番世話人：飯島正平（大阪国際がんセンター 栄養腫瘍科）

※日本静脈経腸栄養学会認定資格「NST専門療法士」認定単位(2単位)

主催：日本栄養材形状機能研究会 ホームページ <http://jsfsn.net/>

会場へのアクセス



最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)	徒歩8分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)	徒歩6分
湯島駅または根津駅(地下鉄千代田線)	徒歩15分

御茶ノ水駅 (JR中央線、総武線)	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶51駒込駅南口又は東43荒川土手操車所前行 東大(赤門前バス停)下車
	学バス利用	学07東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停) 下車
御徒町駅 (JR山手線等)	都バス利用	都02大塚駅前又は上69小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目 駅下車
上野駅 (JR山手線等)	学バス利用	学01東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停) 下車